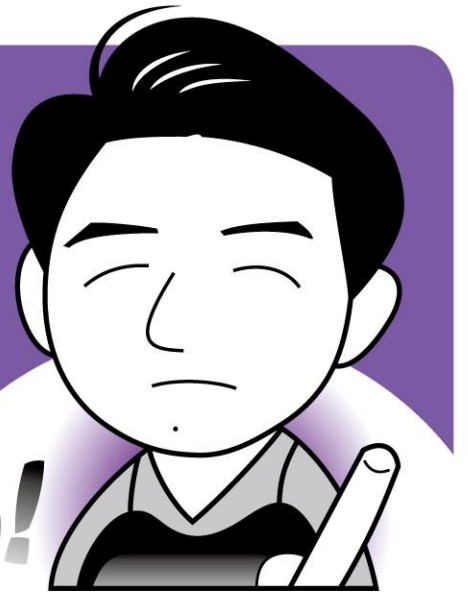


GO! GO! よしひろ

Vol.28
OCT.2011



りん!

埼玉県議会議員

鈴木よしひろ活動レポート

第28号

平成23年(2011)10月発行

〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

ホームページ <http://www.yosshisuzuki.com> E-mail yosshisuzuki@gmail.com

Think together
Go together

国会に異議あり!

「今こそ与野党には
新たな政治の進め方が必要」

先日、テレビで国会中継を見ていました。小沢一郎民主党元代表の資金管理団体の土地購入をめぐる虚偽記載事件で、元秘書3人が有罪判決を受けたことについて、野田総理に「小沢一郎元代表に議員辞職を迫るのか」と野党が問い、それに逃げの答弁を繰り返す場面でした。衆議院予算委員会でのひとこまでです。

ついこの前は、外国人の女性から政治献金をもらったの、それがどうだという議論をしていただばかりです。私はこの様子に、非常に大きな違和感を感じました。

**国会のあり方
それを根本から
問い直すべき…。**

予算委員会、内閣が提出する予算案の審議を行うことが基本的な役割ですが、ここでの質問内容は自由となっていま

す。そのため、過去においては予算案を人質にとってスキャンダルを突くやり方が常套手段となっていました。

**大震災を受けて
日本全体の価値観や
行動が変化する中…**

3月11日の大震災。これがそれまでの価値観や意識やシステムを根底から覆すような衝撃を日本全体に与えました。それなのに日本の最高の意志



ハッ場ダム議連で国に要望

決定機関である国会は未だに過去の慣例のまま、政局優先なのはどうかということなのでしょう。これが私の感じた大きな違和感です。

「復興への思いは与野党も同じだ」といいながらも予算委員会でスキャンダルをやる。これは、そろそろやめた方がいいと思います。

国会では何故、「震災の復興問題」と「政局」を明確に分けて、議論できるようにルールを変えようという動きが生まれないのでしょうか。何故、与野党が歩み寄って行くことができないのでしょうか。

〈2面に続く〉

今、考えていること!

埼玉県議会議員

鈴木よしひろ



鈴木

「国会だけが意識が変わっていない！」

国家戦略の欠如 それを早急に 作り出すべき！

そして、一番の疑問は、日本に国家としての戦略が決定的に欠如しているという事実とそれに危機感を感じないという国会の意識です。

日本としてのあるべき姿や成長戦略、安全保障や危機管理、エネルギー政策……。これらは政争の具にするものではなく、与野党の立場を超えて国会議員の間である一定のコンセンサスを持つべきものです。

これらは政権は変わっても、ある程度はその路線は



つねに活発に意見を表明

ぶれずにいなければならないし、政権ごとに方針転換しては国としては成り立ちません。

日本は政権交代可能な二大政党制を志向し、1996年に小選挙区制度を導入しました。しかし、政権交代した場合、国家の根幹がぶれないように、国の基本概念を明確化したり、共通のコンセンサスをあらかじめ作り上げるような努力が国会議員の間では、果たして行われてきたのでしょうか。こういったことを与野党間で深める建設的な議論は行われたとは思えません。ここに大きな失望と歯がゆさを感じています。



社会福祉推進議連で共同募金

「日本の根本姿勢について 与野党でコンセンサスが必要」

自民党と民主党 政治不信払拭のため どちらも変わらねば...

戦後、日本の復興を政治的に牽引してきたのは自民党だということには誰もが異論がないでしょう。同時に、国民の政治に対する失望を招いたのも自民党だという批判にも、謙虚に受け止めなければなりません。

一方、その自民党の批判の追い風に乗って政権を獲得したはずの民主党が、いま大きなブーイングを浴びています。それは、ただ反自民党であれば良いという政策の脆さや危うさ、政権運営の定見の無さ、そして政権維持を自己目的化してしまっただけの無節操さが原因です。

それでも民主党批判が、自民党支持に繋がらないのは何故でしょうか。

自民党がこれまでやってきたけど、官僚との癒着とか、お金の問題で、いつもゴタゴタ。そこでお灸を据える意味で、民主党にやらせた

けれども、それよりもひどくなっていた。だから自民党さん頑張ってくださいと言いたいけれど、自民党も何も変わっていないじゃないかとなるわけです。

1票の格差も定数は正も進んでいません。これも次の選挙で変えようとするから進まないのです。国会議員の方々は「次は減らしませ」と選挙前は、声高に言うけれども、選挙で受かったとたんに、自分は辞めたくないからうやむやになってしまう。

これも次の選挙に変えるというから駄目なのであって、10年先に実現するという目途をたてて、計画的に



次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委で県外視察



佐藤正久参議院議員と(自民党政調研修会)

行つていけば、今頃、とっくに出来ていたと思います。ですからたとえば10年先は参議院が半分、衆議院は小選挙区だけとか、いくつかあるでしょうが、きちつと決めて、そうすれば良いと思うのです。

次にはやりますよといながら出来ないから信用をなくす。あるいは今だけ切り抜ければ何とかなる。国会はいつしか近視眼的になり、長期的視点や大所高所の見地が乏しくなり、改革へ



埼玉県知事選挙で

の長期戦略がなさ過ぎると感じています。

そして、政治に対する信頼回復のためには、政治資金など、まず政治家自身が襟を正さねばなりません。そして、国民が真に希望を持てる政治を断行するための先見性と知恵と覚悟が必要だと考えます。

自らの立場で 政治の立て直しに 課題解決に邁進！

政治の信頼回復は国会だけに課せられているわけではありません。

政権交代が行われた2009年の衆議院選挙。あのときに有権者から突きつけられた自民党へのNOは、国会議員に対してだけでなく、私たち自民党所属の地方議員にも下された審判だと私は思っています

私自身も政治不信解消を一步でも二歩でも進めるために、今まで以上に日々、真摯にそして果敢に挑戦して参ります。そして自らの政策の旗を大きく掲げ、これらの課題に向けて精一杯臨んで参る決意です。

埼玉県議会議員

鈴木よしひろ

続報

最先端議連の活動

視察、座学を行い、 新産業への展望を拓く！

鈴木よしひろ県議が発起人となった最先端議連。そこには自らも研究者としての経験を持つ鈴木県議の理系の視点が大きく反映されています。今回はこの議連を主張を紹介します。

資源の無い我が国は、革新的な科学技術とイノベーションを常に創出し、国際競争力を持つことが国力の源泉でした。その取り巻く環境が今日、大きく変わっています。グローバルな競争が激化、さらに、イノベーションのオープン化が起こり、研究人材の国際流動の増大とその獲得競争も激化しています。

最先端技術の 振興への方策は…。

その対応を鈴木県議は次の様に考え、すでに最先端議連として知事にも要望しています。



現場に行き、最先端技術を肌で知る



最先端技術の動向について担当者から聞く

●イノベーションのオープン化の推進

産業技術総合センター等を充実し、企業の研究開発コストの軽減に努めること。

●技術経営力の向上と新産業の育成・集約

次世代産業の誘致及び、県内産業が次世代産業への転換を図るため、財政面の支援を積極的に図ること。中小企業が次世代産業への転換を図ることができるよう、県が政策誘導を行うこと。

●ものづくりの維持強化に向けたクラスター形成と人材の育成

地域に産学官連携を推進する拠点施設の整備を図り、産業集積を一層発展させていくこと。中小企業の研究開発を担う人材の育成支援する為、教育機関と連携し、「匠の技」に繋がるものづくりの面白さを享受できる研修等の事業の充実強化を図ること。

理数教育等の充実を通して、理数好きな子供たちをしっかりと育てていく予算の充実を図ること。今後、鈴木よしひろ県議はさらに必要な制度づくりを進めて参ります。



埼玉県は全国最小 人数の運営を志向

埼玉県は、最小の費用で最大の効果をあげる「最小・最強の県庁」を目指しています。今年度は、更に知事部局の定数を170人削減し、7、005人から6、835人となり、県民1万人当たりの職員数が11人台を達成する見込みです。こうして埼玉県庁は、全国の平均のほぼ2分の1ぐらいの人数で県民の皆さんたちのサービスを展開するという形を取っております。

行政改革としての効率的な人材の配置。私自身はこれには異論はありません。しかし、数字の追求だけで満足してしまつて、その追求だけが一人歩きしていないのかを危惧しています。例えば埼玉県では、これまで環境部の職員が

職員の定数削減に 別の視点を！

現場に行つて野焼きや不法投棄のパトロールをしていたのを外部委託しています。郵便、宅配業、産廃業者に外部委託し、パトロールの密度を高くして居るわけです。これ自体には問題は無いでしょう。しかし、パトロールをすることは県の目的ではありません。大切なことは、実際に不法投棄が減ることです。

保健所も同様です。保健所の飲食店の営業指導に關しても、食中毒になればお店が悪いというけれど。外部委託を進める分、現場を廻る回数が減り、指導力が落ちていないのでしょうか。

数字の追求だけで、 果たしてよいのか？

さらに問題なのは、各部署のノウハウの蓄積と継承が途絶する恐れです。土木事務所などは、現場回りをやるなかでノウハウを教わり、その中でどうやればコストを低くして道路整備が

出来るとか、歩道の整備をできるとかを考えていました。これが役所のノウハウにつながりました。人員削減だけを進めていけば、ノウハウは役所には残りません。例えばコンサルなどに外部委託した場合、そこで挙がってきた数字を判断するのは職員です。そこをきちんとしてジャッジできる質の良い職員が今後10年後、20年後、育つのか。

職員を一人減らせば500万円、600万円は費用は押さえられるかもしれませんが、そのために余計な作業に忙殺されて、本来の業務の質が落ちることはないのか。そこまでを精査した上で、本当に適正規模な人員を決め、弾力的に運用すべきということです。

私は県民にとつて何がプラスなのかを考え、徹しく見ていきたいと思っています。

REPORT

9月定例会の報告

予算累計額 1兆7,024億508万2千円を可決・決定。

9月定例会は9月22日(木)から10月14日(金)まで行われ「平成23年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)」を中心に審議され、可決・成立しました。

東日本大震災及び福島第二原発事故への対応

被災者に対して被災者生活再建支援法に基づき、支援金を支給します。

また、放射線汚染への対策として、大気中の放射線量の測定や土壌等の検査の



大阪・原子力関連施設オフサイトセンターを視察

機器を増強し、監視体制の強化を図ります。

さらに、今後の災害への備えとして救急搬送や支援物資の輸送のため、緊急輸送道路における老朽化した橋りょうの耐震化などを前倒して実施します。

エコタウンプロジェクトの推進

この夏の電力不足で、県民の間で、これまで以上に節電意識が高まる中、地域全体で創エネ・省エネに先進的に取り組む新たな埼玉モデルを構築します。具体的には、太陽光発電により自ら生み出した電力量がまかなえる「電力100%自活住宅」について、実証実験を行うための新たな助成制度の創設やエネルギーの地産地消を具体的に進めるエコタウンにつながる取組として、家庭単位での電力収支の黒字化を目指していきま

て調査を実施します。

この他、大震災及び台風6号で崩壊した河川における護岸ブロックの復旧。台風12号で被災した森林管理道などの農林施設及び河川の復旧が行われます。これらにより、予算の累計額は、1兆7,024億508万2千円となっています。

9月議会における意見書・決議・誓願

- 意見書：次の11件です。
 - 円高・デフレを克服する経済対策を求める意見書
 - 放射性物質による製茶の被害に対する早急な対策を求める意見書
 - 地方議会の議決事項に関する見直しを求める意見書
 - 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書
 - トンネルじん肺根絶に向けた抜本的な対策を求める意見書
 - 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める

意見書

- 今年度限りで終了する基金事業の継続・拡充を求める意見書
- 意見書に対する関係行政庁等からの誠実回答を求める意見書
- 「子ども子育て新システム」の撤回を求める意見書
- 八ッ場ダム建設事業の早期完成を求める意見書
- 中国国籍者に対する数次ビザの撤回を求める意見書

決議：次の1件です。

- さいたま新都心第8・1A街区整備に関する決議

誓願：2件を採択、1件を趣旨採択しました。

- 県立小児医療センターの存続に関する請願書(趣旨採択)
- 地方消費者行政を充実するため国による実効的支援を求める意見書を国会及び政府に提出することを求める請願書
- 私学教育振興のため、公費補助のさらなる充実等を求める請願

鈴木よしひろブログをご覧ください。

日々の活動や政治への思いなどを折に触れて、掲載しています。是非、ご一読下さい。携帯でもご覧頂けます。

Ameba政治家オフィシャルブログ認定 <http://ameblo.jp/suzuki-yoshihiro/>



ホームページ公開中 <http://www.yosshisuzuki.com>

埼玉県議会議員

鈴木よしひろ 48歳

連絡先 / 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347

鈴木よしひろプロフィール

●昭和37年11月生●三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部卒●参議院議員(故)土屋義彦秘書～平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在4期)●(社)越谷法人会青年部監事、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニアチーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問等

県政についてのご意見ご要望は右記へ

TEL.948-2070 FAX.948-2071

●E-mail yosshisuzuki@gmail.com